

社協だより

出あい
ふれあい
語りあい



社会福祉協議会から皆さまへ

「寒梅や／昭和は遠く／なりにけり。」平成20年も早、梅見月も過ぎようとしており、19年度も後1ヶ月を残すだけとなりました。

社協の予定事業も、環境部の「皆できれいな海蔵川の日」、広報部の地区広報「かいぞう」の発刊、福祉部の「福祉だより」の発行などを残すだけで、地区「文化祭」「堀川菖蒲まつり」「ニュースポーツ大会」などなど、予定どおり無事終了することができました。皆さまから賜りましたご支援に、深くお礼申し上げます。

地区社協として、今年度は『住んで良かったまち／ずっと住みたいまち海蔵』をテーマに、重点目標【さんあい】→『地域住民どうしの出あいと、ふれあいの場を多く。和みと語りあいのあふれる地域の構築』を、提唱してまいりましたが、事業面に、それがどれほど反映できたであろうか。反省面を総括し、次年度の糧としたいと考えております。

今後の社協に期待すること、望むこと



今日の我が国の社会経済情勢は、急速な少子高齢化社会の進展をはじめとして、経済の低成長など厳しい状況下にあります。家族の形態や生活様式の変化など、地域の支えあいや連帯感が希薄化してきています。このような背景から地区社協活動の対応にも変化とともに脱皮を求められているのではないのでしょうか。

社会福祉活動は地域住民の皆さんの共有した意思の疎通をはかり、タイムリーな時に、皆さんのニーズに対応する施策が肝要かと思えます。一方、連合自治会としても、顔が見えるコミュニティの中で、毎日の暮らしの中において、関わり合いのある住民同士の互助の精神を基に活動を構築したいと考えています。地域が主体となった活動「安心して暮らしつつげられることのできる」海蔵地区をめざし、社会福祉協議会の皆さんと連合自治会が協働し、共有した目標にむかって、車の両車輪のごとく、更なる地域社会福祉のあるべき姿に向かって努力しようではありませんか。

海蔵地区連合自治会 会長 水谷重信



若生会から社会福祉協議会の皆さまへ

平素は若生会に対して、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。お蔭様をもちまして、若生会の運営も順調に推移しており、無事に年度末を迎えることができそうです。今後とも引き続き、ご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

さて、私たち若生会一同が「社協に期待すること、望むこと」は、今後とも更に内容を充実し、地区内の取りまとめを進め、明るく住みよい海蔵地区の実現に向けて邁進してほしいということでございます。

最後に「地区社会福祉協議会」のますますの発展と隆盛を祈念いたします。

海蔵地区連合若生会 会長 市野 勲





下半期のおもな行事



環境部

～身近な自然を体験する県民デー～ 11/18(日)

～グランドゴルフ大会～ 11/25(日)



海蔵川堤防の清掃



桜枝切り



健康推進部

福祉部

～山手中学校生徒を交えての福祉体験～ 11/23(祝)



垂坂山ブルーミングハウスで、グループホームで暮らす障がいをもつみなさんと「犬のおやつ作り」の作業体験と交流会をしました。

文化祭

事業部



開催日はもちろん、
設営・準備は5日前
から、大奮闘！

青少年育成協議会「餅つき」

作品展

ご参加・ご協力に心より感謝いたします。みなさま、本当にありがとうございました。

11/3(土)11/4(日)

ご寄付のお礼～「はあとくらぶ」さまより～

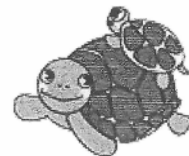


～ 障がい者や病気を持つ子どもたちとその家族のための素敵な空間 ～ はあとくらぶ様より、海蔵地区文化祭でのバザー（ねぎ焼き）収益金の一部を寄付して頂きました。

“今回、地域で大きな活動に参加でき、多くの自信を得ることができ、何より地域の皆様方と触れ合えたことが、大きな喜びになりました”とお手紙を頂きました。ありがとうございました。



環境部にインタビュー



Q : どんな活動をされていますか？

A : 毎年2回、海蔵川堤防の清掃「身近な自然を体験する県民デー」「皆できれいに海蔵川の日」を地域住民と共に実施しています。

また、海蔵川と堀川の水質検査を年4回実施し、行政への資料提供を行い、地元の子どもたちに、水質状況体験をして頂く活動を行っています。

Q : 部員さんの構成と人数は？

A : 連合自治会、婦人会、青少年育成協議会から代表を数名選出し、組織し、現在の部員人数は12名です。

Q : 今後の抱負は何ですか？

A : 海蔵川堤防の定期清掃を核とし、地域住民ゴミの分別意識を高め、大人も子どもも参加できる企画を考え、人と人が手と手を取り合って、心豊かできれいな町づくりを目指したいと思っています。



2008. 1. 31

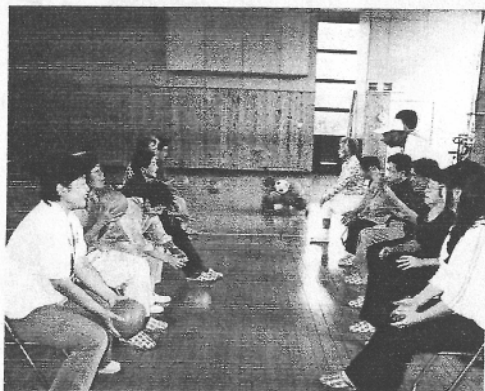
環境部長さんにお話をお聞きしました。



YMCA在宅介護支援センターの紹介



YMCA 在宅介護支援センター(海蔵地区担当)は、市の委託事業です。市役所に代わって、地域の身近な相談窓口として、介護・福祉サービス等の相談に無料で応じています。



- ♥ 退院が近いが、家に戻ってからの生活が不安・・・
- ♥ 母の物忘れがひどく、認知症ではないかと心配・・・
- ♥ ひとり暮らしで、先々の生活が不安。
施設のこと教えて・・・
- ♥ 調理ができず、買い物にも行けない。
食事の方法はない？・・・
- ♥ 廊下に手すりをつけたいが、何か補助はある？
- ♥ 介護保険のことを教えてほしい。 など

ご自宅まで、伺いますので、気軽にお電話ください。又、支援センター主催“元気会”“モーニングエクササイズ”などの介護予防教室も開催しています。

お問い合わせ：YMCA介護支援センター（阿倉川駅前ジョイマート西）まで

TEL 059-333-9831

海蔵地区社会福祉協議会

地域住民
交流の場

地域を支える 各種団体

- ◆ 各町自治会
- ◆ 民生委員児童委員協議会
- ◆ 子ども会育成者連絡協議会
- ◆ 青少年育成協議会
- ◆ 人権・同和教育推進協議会
- ◆ 若生会(老人会) ◆ 婦人会
- ◆ 厚生年金受給者協会
- ◆ 母子福祉会 ◆ 遺族会
- ◆ 文庫運営委員会
- ◆ いぬなし・あいなし保存会
- ◆ 福祉の家管理委員会
- ◆ 各ボランティア団体 ◆ 交通 安全協会
- ◆ 中学校PTA ◆ 海蔵消防分団
- ◆ 小学校PTA ◆ 第一市民防災隊
- ◆ 幼稚園PTA ◆ 各町自主防災隊 ◆ 海蔵セフティネット協議会
- ◆ 保育園保護者会 ◆ 学童保育所運営委員会

様まつり実行委員会
準備、設置、見回り、清掃

海蔵地区防炎会

事業部
◆ 地区
運動会・
文化祭
を隔年
に開催

福祉部

- ♥ 体験教室
- ♥ 講演会
- ♥ 高齢者と
子どもと
の交流会

新しい芽を育てよう!!

団体間の交流を図ろう!!

みんなで力を合わせて
安全なまちづくり

広報部

- ◆ 地区広報
「かいぞう」
/社協だより
「さんあい」
の発行

健康推進部

- ◆ ニュースポーツ大会
- ◆ グランドゴルフ大会
- ◆ 市民スポーツフェスタ参加

環境部

- * 海蔵川堤防の清掃
- * 身近な自然を体験する県民デー
- * 海蔵川・堀川水質検査

花部

- * 菖蒲園管理
- * 菖蒲まつり
- * 街角花いっぱい運動